

令和5年度 呉市認知症施策推進事業計画

参考資料1

認知症施策推進大綱(令和元年6月18日 認知症施策推進関係閣僚会議決定)を踏まえ事業を推進

認知症の発症を遅らせ、認知症になっても希望を持って日常生活を過ごせる社会を目指し、認知症の人や家族の視点を重視しながら「共生」と「予防」を車の両輪として施策を推進

- ①普及啓発・本人発信支援（認知症サポーター養成の推進、普及・啓発イベント等）
- ②予防（通いの場への参加促進、認知症予防事業等）
- ③医療・ケア・介護サービス・介護者への支援（認知症初期集中支援チーム、認知症地域支援推進員活動、対応力向上研修等）
- ④認知症バリアフリーの推進・若年性認知症の人への支援・社会参加支援（チームオレンジの設置促進、若年性認知症カフェ等）

*地域支援事業実施要綱（令和2年5月29日改正）により、これまでの認知症初期集中支援事業、認知症地域支援・ケア向上事業にあわせ、認知症サポーター活動促進・地域づくり推進事業が追加され、チームオレンジコーディネーターの設置が義務付けられた。

地域支援事業（包括的支援事業・任意事業・一般介護予防事業）

令和5年3月末現在

	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度
認知症初期集中支援推進事業			
認知症施策推進事業検討委員会	年3回 実施 7月・11月（Web+集合ハイブリット会議）2月（書面審議）	年3回 実施 7月、10月、2月実施	年3回（6月、9月、2月）実施予定 ※適宜アンケートによる事前意見集約等を実施
認知症初期集中支援チーム運営	2チーム設置（認知症疾患医療センター・ほうゆう病院） 相談、訪問、普及啓発、ケース検討 認知症地域支援推進員との連携・チーム会議参加	2チーム設置（認知症疾患医療センター・ほうゆう病院） 相談、訪問、普及啓発、ケース検討 認知症地域支援推進員との連携・チーム会議参加	2チーム設置（認知症疾患医療センター・ほうゆう病院） 相談、訪問、普及啓発、ケース検討 認知症地域支援推進員との連携・チーム会議参加
認知症・若年性認知症相談会（定期）	市役所（月1回）と各包括圏域で開催 9月、3月に夜間相談会開設 実績件数：13件	市役所（月1回）と包括圏域毎に年1回地域で開催 9月、3月は夜間相談会開催 実績件数：14件	市役所（月1回）と包括圏域毎に年1回地域で開催 9月、3月は夜間相談会開催
認知症地域支援・ケア向上事業			
認知症対応力向上研修の実施	日時：10月8日（金） 内容：認知症サポーター養成講座、認知症家族の体験談 場所：WEB開催 講師：認知症疾患医療センター、信友直子様	時期：10月29日（土） 内容：認知症と共に生きるを多職種で考える。 場所：WEB開催 内容：多職種によるパネルディスカッション	調整中（時期・場所等詳細未定）
くれオレンジガイドブックの作成（認知症ケアパス）	くれオレンジガイドブックの改良 圏域ごと8種類に分類し、1冊の中で状態に応じて必要な情報を得られるように情報を集約	くれオレンジガイドブックの内容を随時見直し情報等を修正していく。 【新】市民向け「くれオレンジガイドブック」作成	くれオレンジガイドブックの内容を随時見直し情報等を修正していく。
ホームページ及びソーシャルメディアの活用	認知症のイベント情報をホームページ及び呉市のSNSで発信。 イベント時の様子もホームページに掲載	認知症本人発信の情報をホームページに掲載 認知症に関する情報についてソーシャルメディアを活用した周知	認知症本人発信の情報をホームページに掲載 認知症に関する情報についてソーシャルメディアを活用した周知
認知症地域支援推進員			
配置先	地域包括支援センター、呉市、認知症疾患医療センターに配置 計20名	地域包括支援センター、呉市、認知症疾患医療センターに配置 計20名	地域包括支援センター、呉市、認知症疾患医療センターに配置 計20名
活動内容	周知啓発活動 アルツハイマー月間（9月） ・市役所1階にて認知症情報展示及びもの忘れ相談プログラムを使った相談会実施 ・チラシ、ポスター、掲示等での認知症情報の発信 ・オレンジライトアップ 市民及び各種団体への認知症勉強会の実施	周知啓発活動 アルツハイマー月間（9月） ・市役所1階にて認知症情報展示及びもの忘れ相談プログラムを使った相談会実施 ・チラシ、ポスター、掲示等での認知症情報の発信 ・オレンジライトアップ・・・他 市民及び各種団体への認知症勉強会の実施	圏域及び市全体での認知症の人と共に生きるをテーマに活動を展開
認知症啓発イベントの実施	12月11日（土）「認知症と共に生きる！」をテーマにイベント開催 於：広市民センター 認知症家族のトークショー、本人動画、ワークショップ、展示（1週間継続展示）	11月27日（日）認知症啓発イベント実施 認知症と共に生きる川柳の募集と表彰 応募：609件 一次選考：40件 最終表彰：10件	調整中（時期・場所等詳細未定）
本人ミーティングの開催	—	認知症疾患医療センターと協力し、試行的に本人ミーティングを開催（7月23日）	認知症疾患医療センターと協力し、本人ミーティングを開催予定
認知症カフェ（民間事業者委託）の設置	呉市内11箇所 189人 （うち7箇所コロナ感染症のため休止） 認知症カフェ連絡会（コロナのため見合わせ）	呉市内9箇所 215人 （うち5箇所コロナ感染症のため休止） 認知症カフェ連絡会（コロナのため見合わせ）	呉市内11箇所で開催予定（独自実施3箇所） コロナ感染症の影響を受け、再会できない事業所あり 令和6年度に向け、カフェのあり方を見直し予定
認知症サポーター活動促進・地域づくり推進事業			
チームオレンジの設置 チームオレンジ・コーディネーターの配置	チームオレンジコーディネーターを1名配置 委託先：認知症疾患医療センター 令和4年3月末時点 チームオレンジ設置 1箇所設置 設置圏域：中央圏域	チームオレンジコーディネーター 1名 委託先：認知症疾患医療センター 令和5年3月末時点 チームオレンジ設置 3カ所設置 設置圏域：中央、天応・吉浦、東部	目標：令和6年3月末までに全日常生活圏域にチームオレンジの設置 令和5年5月末時点 チームオレンジ設置 7箇所設置 設置圏域：中央2、天応・吉浦、東部2、昭和1、全体対象1
【新】オレンジサポーターバンクの設置			目標：認知症地域支援推進員と共同し、全日常生活圏域にオレンジサポーターバンクを設置 詳細は資料9参照
認知症相談会の開催（物忘れ相談プログラムの実施）	令和3年9月から実施 週1回定期開催（予約不要） 延100件（実100件）	週1回定期開催（予約不要） 延163件（実63件）	もの忘れ相談プログラムを使った認知症相談会の実施（令和3年9月～実施） 週1回定期開催（予約不要）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度(案)
任意事業(家族介護支援事業等)・その他			
高齢者等見守りネットワーク事業 ↓ 変更 呉市見守りネットワーク事業	各機関との協定締結と配信サービスの稼働・実施 協定締結:21事業所 見守りSOSメール高齢者等事前登録者:80人 SOSメール送付件数(行方不明高齢者等4件,消費者被害情報10件) 協定事業所に対し認知症サポーター養成講座を実施	名称変更:呉市見守りネットワーク事業 高齢者や障害者,年齢などの属性を問わない,見守り支援活動に変更 所管課:福祉保健課重層的支援推進室	名称変更:呉市見守りネットワーク事業 高齢者や障害者,年齢などの属性を問わない,見守り支援活動に変更 所管課:福祉保健課重層的支援推進室
徘徊高齢者等家族支援サービス事業※GPS機器一部助成	市にて助成事業を実施 申請件数 21件(うち交付決定19件)	市にて助成事業を実施 申請件数 15件(うち交付決定10件)	市にて助成事業を実施
認知症サポーター養成講座 認知症サポーターステップアップ講座 (オレンジサポーター養成)	<認知症サポーター養成講座・キャラバンメイト養成研修> 郵便局,銀行,民児協,自治会,老人クラブ,サロン,大学,高専,小学校,医療機関,介護事業所等 延764人(うち新規564人) 累計 延18,161人(実15,809人) <ステップアップ講座> 1回 56人 <オレンジサポーター養成講座> 認知症サポーター養成講座,ステップアップ講座の一連講座として実施 1回 20人	<認知症サポーター養成講座・キャラバンメイト養成研修> 郵便局,銀行,民児協,自治会,老人クラブ,サロン,大学,高専,小学校,医療機関,介護事業所等 延630人(うち新規477人) 累計:延18,794人(実16,288人) (目標値:令和5年度末までに延18,500人) <認知症サポーター養成講座> 1回 2月22日 40人 <オレンジサポーター養成講座> 1回 3月1日 50人(ステップアップ講座の一連講座として実施)	呉市見守りネットワーク協定締結事業所,呉市職員研修に取り入れるなど対象者を拡大。認知症の人及びその家族の支援者を増やすため,オレンジサポーター養成講座を実施その中から,チームオレンジ設置に向かう人材を発掘
地域介護教室(介護者交流会)	地域相談センターに委託・実施 実施回数 44回 518人	地域相談センターに委託・実施 実施回数 49回 548人	地域相談センターに委託・実施
介護予防(認知症)教室実施	地域相談センターに委託・実施 31会場 378人	地域相談センターに委託・実施 実施回数 36回 451人	地域相談センターに委託・実施
ふれあいいきいきサロン事業	社会福祉協議会に委託・実施 申請243グループ(うち活動132グループ)	社会福祉協議会に委託・実施 申請175グループ(うち活動中149グループ)	社会福祉協議会に委託・実施
貯筋グループ活動支援事業	週1回程度の運動を継続するための自主的なグループの設立。閉じこもりや認知症予防,社会交流を目的とする。 59グループ ※コロナ感染症の影響を受けても拡大している。	週1回程度の運動を継続するための自主的なグループの設立。閉じこもりや認知症予防,社会交流を目的とする。 76グループ ※コロナ感染症の影響を受けても拡大している。	通いの場の立ち上げ,継続支援
広報・啓発	【出前トーク】 「認知症サポーター養成講座」(小中学校向け編にもテーマを掲載) 民児協,青年会議所,学校,市役所職員へ認知症サポーター受講を積極的に案内 【啓発】 のぼり旗を増版 地域包括支援センター紹介カードを65歳到達時の介護保険証送付時に封入	【出前トーク】 「認知症サポーター養成講座」 小中学校編,一般市民向けに開催 【市政便り】 12月市政便り(11月10日発行)特集号掲載 【啓発】 【新】認知症相談窓口広報チラシ	【出前トーク】 「認知症サポーター養成講座」 小中学校編,一般市民向けに開催 【広報】 市の広報番組等 【啓発】 認知症相談窓口広報チラシ
※市民後見人の育成・支援組織の体制整備			
※若年性認知症対応 個別ケースの把握対応(認知症疾患医療センター,地域包括支援センター,地域保健課,高齢者支援課,介護保険課)			